

1. 日本文学科

日本文学科には、日本文学専攻・日本語学専攻・伝承文学専攻があり、専攻によって専門教育科目の履修方法が異なる。いずれかの専攻を選択し、履修規程に基づいて単位を修得する。また、各専攻に属しながら、日本語教育・国語教育・書道・表現文化の各領域科目も適宜履修できる。

【卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

A 知識・技能

- (DP-A1) 日本の文学・言語・文化について、正確に理解することができる。
- (DP-A2) 日本の文化的背景について、基礎的な知識を身につけることができる。
- (DP-A3) 日本の文学・言語・文化について、平易に伝えることができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (DP-B1) 日本の文学・言語・文化について、研究テーマとなる学修課題を見出すことができる。
- (DP-B2) 上記の学修課題について、論理的・分析的に考察することができる。
- (DP-B3) 考察した結果について、平易かつ的確に表現することができる。

C 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

- (DP-C1) 日本の文学・言語・文化についての諸問題に常に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。
- (DP-C2) 他者の意見を理解した上で、みずからの見解をまとめることができる。
- (DP-C3) 日本の文学・言語・文化についての知識を、他者と共有することができる。

以上の教育目標を達成するために設けられた授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ共通教育プログラムにおいて所定の単位を修得した者に、学位（文学）の学位を授与します。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

科目群		卒業認定・学位授与方針（DP）									各科目群の教育目標
		知識・技能			思考力・判断力・表現力			主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度			
		A1	A2	A3	B1	B2	B3	C1	C2	C3	
学科基幹科目	学科基礎科目	◎	○		○						専門的学修のための知識・技能を修得し、広い視野と教養を身につける。
	専攻基礎科目		◎	○		○					
	専門基礎科目	◎	○			○					
	専攻演習科目				◎		○	○			
	専攻外演習科目					○	◎		○		
展開科目	選択Ⅰ類				○	◎				○	学生が希望する専攻分野についての理解力や知見、実践力を養う。
	選択Ⅱ類				◎		○			○	
	選択Ⅲ類				○	◎		○			
	選択Ⅳ類						◎		○	○	
卒業論文					○		◎		○		これまでに修得した専門的な知識や技能を活かし、学修の集大成としてまとめる。

【各専攻について】

日本文学専攻

古代から近現代にいたる各時代の主要な作品・作家に触れて、全体の流れをつかむとともに、個々の作品について集中的に研究することにより、日本人の心情や生活の意義・特質を明らかにすることを目標とする。

日本語学専攻

日本語の、古代から現代にわたる音韻・音声・文字・語彙・文法・方言などについて多様な形態で伝わる文献資料はもとより現代日本語の動態に至るまで広く対象として研究し、日本語の有する法則的事実を科学的に明らかにすることを目標とする。

伝承文学専攻

日本文化の総合的・体系的理解には、文字表現に加え、言葉や行為、感覚、さらに造形等によって受け継がれてきた伝承文化への認識が必要となる。具体的には、昔話や伝説、儀礼、芸能、衣食住など多岐にわたる文化で、これらの実態や特質について民俗学や口承文芸学、民俗芸能学等の視点から学修、究明することを目標とする。

【各領域について】

上記3専攻とは別に、以下4つの領域科目を設定している。3専攻のいずれかに属しつつ、目的に応じて以下の領域科目を履修することができる。

日本語教育学領域

日本語学習者の多様なニーズに応じた支援のための教授法を教材・学習者・言語にわたって幅広く研究する。さらに、日本語教育実習を通じて日本語教師としての資質と能力を養うことを目標とする。専門的に日本語教育学を学ぶことで、大学院の高度日本語教育コースへと展開させることが可能となる。

国語教育学領域

国語教育学の理論と実践及び教育方法学の基礎を学ぶことで、教職課程の学修を一層深めるとともに、大学院の高度国語教育コースへの接続と展開を可能にする。

書道領域

楷書・行書・草書・隸書・篆書（篆刻を含む）・仮名などの実技実習と、書道史・書論などの書学書道史学の視点からの学修を通して、書の世界を実践的に学ぶとともに、体系ある学問としての書道を探究してゆくことを目標とする。

表現文化領域

散文表現、韻文表現、文字表現、身体表現などの表現方法を学修対象として、表現の可能性を追究してゆくことを目的とする。表現のありようを実践的に学ぶことによって、表現や創作また出版・放送などに携わることのできる人材の育成を目指す。

【卒業論文について】

卒業論文の指導教員は、3年次前期に学科が定める手続きを経て確定する。その後、各教員の指導に従って作成に向けて準備、作業を行い、4年次の12月に提出する。

【カリキュラムの構成と履修方法】

1. 専門教育科目の専攻が分かれるのは2年次からであるが、専攻の選択は1年次後期に行い、2年次前期の履修登録の際に登録を行う。原則として、それ以降の専攻の変更は認めない。ただし、3年次前期の履修登録時において変更の希望があった場合には、教務委員が検討する。
2. 専攻外演習科目である「日本語教育学演習ⅠA～ⅡB」「言語学演習Ⅰ・Ⅱ」「国語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」「書道演習Ⅰ・Ⅱ」「表現文化演習Ⅰ・Ⅱ」を修得した場合、その修得単位は各自の選択した専攻の専攻演習科目の単位として認定される。
3. 「日本文学演習Ⅰ～Ⅲ」「日本語学演習Ⅰ～Ⅲ」「伝承文学演習Ⅰ～Ⅳ」「日本語教育学演習Ⅰ～Ⅱ」「書道実習Ⅰ～Ⅳ」については、A・Bが連動している。従って原則として、A・Bは同一指導教員の授業を、同一の年度内に履修することとする。「基礎日本古典語」「書道」「言語学演習」「国語教育学演習」「書道演習」「表現文化演習」については、Ⅰ・Ⅱが連動している。従って原則として、Ⅰ・Ⅱは同一指導教員の授業を、同一の年度内に履修することとする。
4. 各自が選択した専攻の演習を4年次に2科目以上（上記3のA+B、若しくはⅠ+Ⅱ以上）履修のうえ、単位を修得しなければならない。ただし、上記2に従って、専攻外演習科目のいずれかの科目で代替することができる。

科目区分		履修方法	単位数
学科基幹科目	学科基礎科目	必修	14 単位
	専攻基礎科目	選択必修	12 単位以上
	専門基礎科目	選択	
	専攻演習科目	選択必修	12 単位以上
	専攻外演習科目	選択	
卒業論文		必修	8 単位
展開科目	選択 I ～VII類	選択必修	18 単位以上
関連科目			
合計		64 単位以上	

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	
				1	2	3	4		
学科基礎科目	日本文学概説Ⅰ	半期	2	○				14単位必修	
	日本文学概説Ⅱ	半期	2	○					
	日本語学概説Ⅰ	半期	2	○					
	日本語学概説Ⅱ	半期	2	○					
	伝承文学概説Ⅰ	半期	2	○					
	伝承文学概説Ⅱ	半期	2	○					
	漢文学概説	半期	2	○					
	専攻基礎科目	日本文学講読Ⅰ	半期	2		○			日本文学専攻選択者は「日本文学講読Ⅰ・Ⅱ」 日本語学専攻選択者は「日本語学講読Ⅰ・Ⅱ」 伝承文学専攻選択者は「伝承文学講読Ⅰ・Ⅱ」 及び、他の「講読Ⅰ・Ⅱ」の組合せを2組4科目 計3組6科目12単位以上選択必修 超過単位は展開科目へ算入
		日本文学講読Ⅱ	半期	2		○			
		日本語学講読Ⅰ	半期	2		○			
		日本語学講読Ⅱ	半期	2		○			
		伝承文学講読Ⅰ	半期	2		○			
		伝承文学講読Ⅱ	半期	2		○			
		漢文学講読Ⅰ	半期	2		○			
	漢文学講読Ⅱ	半期	2		○				
	専門基礎科目	基礎日本古典語Ⅰ	半期	2		○			「基礎日本古典語」「書道」Ⅰ・Ⅱは、 原則として同一教員の授業を継続して履修すること。 修得単位は展開科目へ算入
		基礎日本古典語Ⅱ	半期	2		○			
		基礎漢文学	半期	2	○				
		影印講読	半期	2	○				
		書道Ⅰ	半期	2	○				
		書道Ⅱ	半期	2	○				
		書道概論	半期	2	○				
	専攻演習科目	日本文学演習ⅠA	半期	2		○			日本文学専攻選択者は「日本文学演習ⅠA～ⅢB」 日本語学専攻選択者は「日本語学演習ⅠA～ⅢB」 伝承文学専攻選択者は「伝承文学演習ⅠA～ⅣB」 の中から8単位を含め、計12単位以上選択必修 超過単位は展開科目へ算入 なお、選択した専攻の演習を4年次に2科目以上履修のうえ、単位を修得しなければならないが、自分の選択した専攻以外の演習科目や専攻外演習科目のいずれかの科目で代替することができる。 各演習のA・Bの組み合わせについては、原則として同一の教員の授業を継続して履修すること。
		日本文学演習ⅠB	半期	2		○			
		日本文学演習ⅡA	半期	2			○		
		日本文学演習ⅡB	半期	2			○		
		日本文学演習ⅢA	半期	2			○		
日本文学演習ⅢB		半期	2			○			
日本語学演習ⅠA		半期	2		○				
日本語学演習ⅠB		半期	2		○				
日本語学演習ⅡA		半期	2			○			
日本語学演習ⅡB		半期	2			○			
日本語学演習ⅢA		半期	2			○			
日本語学演習ⅢB		半期	2			○			
伝承文学演習ⅠA		半期	2		○				
伝承文学演習ⅠB		半期	2		○				
伝承文学演習ⅡA		半期	2			○			
伝承文学演習ⅡB		半期	2			○			
伝承文学演習ⅢA		半期	2			○			
伝承文学演習ⅢB	半期	2			○				
伝承文学演習ⅣA	半期	2			○				
伝承文学演習ⅣB	半期	2			○				
専攻外演習科目	日本語教育学演習ⅠA	半期	2			○		修得単位は、選択した専攻の専攻演習科目へ算入（超過単位は展開科目へ算入） 「日本語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」のA・Bの組み合わせについては、原則として同一教員の授業を履修すること。他の演習のⅠ・Ⅱの組み合わせについては、原則として同一科目を継続して履修すること。	
	日本語教育学演習ⅠB	半期	2			○			
	日本語教育学演習ⅡA	半期	2			○			
	日本語教育学演習ⅡB	半期	2			○			
	言語学演習Ⅰ	半期	2			○			
	言語学演習Ⅱ	半期	2			○			
	国語教育学演習Ⅰ	半期	2			○			
	国語教育学演習Ⅱ	半期	2			○			
	書道演習Ⅰ	半期	2			○			
	書道演習Ⅱ	半期	2			○			
表現文化演習Ⅰ	半期	2			○				
表現文化演習Ⅱ	半期	2			○				
卒業論文	通年	8			○		必修		

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	
				1	2	3	4		
展開科目	日本文学科目群 選択Ⅰ類	日本文学史Ⅰ	半期	2		○			展開科目（選択Ⅰ～Ⅶ類）と関連科目の中から 18単位以上選択必修
		日本文学史Ⅱ	半期	2		○			
		日本時代文学史Ⅰ	半期	2				○	
		日本時代文学史Ⅱ	半期	2				○	
		日本古典芸能文化論Ⅰ	半期	2				○	
		日本古典芸能文化論Ⅱ	半期	2				○	
		東アジア芸能文化論Ⅰ	半期	2				○	
		東アジア芸能文化論Ⅱ	半期	2				○	
		日本上代文学研究Ⅰ	半期	2		○			
		日本上代文学研究Ⅱ	半期	2		○			
		日本中古文学研究Ⅰ	半期	2		○			
		日本中古文学研究Ⅱ	半期	2		○			
		日本中世文学研究Ⅰ	半期	2				○	
		日本中世文学研究Ⅱ	半期	2				○	
		日本近世文学研究Ⅰ	半期	2				○	
		日本近世文学研究Ⅱ	半期	2				○	
		日本近現代文学研究Ⅰ	半期	2		○			
		日本近現代文学研究Ⅱ	半期	2		○			
		日本近現代文学研究Ⅲ	半期	2				○	
		日本近現代文学研究Ⅳ	半期	2				○	
		日本文学各論Ⅰ	半期	2				○	
		日本文学各論Ⅱ	半期	2				○	
		日本古典文学特殊研究Ⅰ	半期	2				○	
		日本古典文学特殊研究Ⅱ	半期	2				○	
	日本近現代文学特殊研究Ⅰ	半期	2				○		
	日本近現代文学特殊研究Ⅱ	半期	2				○		
	東アジア比較文学Ⅰ	半期	2				○		
	東アジア比較文学Ⅱ	半期	2				○		
	文献情報処理Ⅰ	半期	2				○		
	文献情報処理Ⅱ	半期	2				○		
	日本語学科目群 選択Ⅱ類	日本語史Ⅰ	半期	2		○			
		日本語史Ⅱ	半期	2		○			
		日本語学史Ⅰ	半期	2				○	
		日本語学史Ⅱ	半期	2				○	
言語学概論Ⅰ		半期	2		○				
言語学概論Ⅱ		半期	2		○				
日本語音声学Ⅰ		半期	2				○		
日本語音声学Ⅱ		半期	2				○		
古代日本語文法Ⅰ		半期	2				○		
古代日本語文法Ⅱ		半期	2				○		
現代日本語文法Ⅰ		半期	2		○				
現代日本語文法Ⅱ		半期	2		○				
現代日本語研究Ⅰ		半期	2				○		
現代日本語研究Ⅱ		半期	2				○		
日本語学各論Ⅰ		半期	2				○		
日本語学各論Ⅱ		半期	2				○		
言語学特殊研究Ⅰ	半期	2				○			
言語学特殊研究Ⅱ	半期	2				○			

(次ページに続く)

科目 区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	
				1	2	3	4		
展開科目	伝承文学科目群 選択Ⅲ類	民俗学史Ⅰ	半期	2		○			展開科目（選択Ⅰ～Ⅶ類）と関連科目の中から 18単位以上選択必修
		民俗学史Ⅱ	半期	2		○			
		伝承文学史Ⅰ	半期	2			○		
		伝承文学史Ⅱ	半期	2			○		
		日本民俗学Ⅰ	半期	2			○		
		日本民俗学Ⅱ	半期	2			○		
		口承文芸研究Ⅰ	半期	2			○		
		口承文芸研究Ⅱ	半期	2			○		
		儀礼文化論Ⅰ	半期	2			○		
		儀礼文化論Ⅱ	半期	2			○		
		伝承文学研究Ⅰ	半期	2		○			
		伝承文学研究Ⅱ	半期	2		○			
		伝承文化研究Ⅰ	半期	2		○			
		伝承文化研究Ⅱ	半期	2		○			
		民俗文化財論Ⅰ	半期	2				○	
		民俗文化財論Ⅱ	半期	2				○	
		民俗芸能論Ⅰ	半期	2				○	
		民俗芸能論Ⅱ	半期	2				○	
		比較口承文芸論Ⅰ	半期	2				○	
		比較口承文芸論Ⅱ	半期	2				○	
	伝承文学思想	半期	2				○		
	民俗研究思想	半期	2				○		
	現代文化論	半期	2				○		
	映像文化論	半期	2				○		
	比較民俗研究Ⅰ	半期	2				○		
	比較民俗研究Ⅱ	半期	2				○		
	日本語教育学領域 選択Ⅳ類	日本語教授法Ⅰ	半期	2		○			
		日本語教授法Ⅱ	半期	2		○			
		日本語教育研究Ⅰ	半期	2			○		
		日本語教育研究Ⅱ	半期	2			○		
		日本語教育実習Ⅰ	集中	1			○		
		日本語教育実習Ⅱ	集中	2			○		
	国語教育学領域 選択Ⅴ類	国語教育学概論Ⅰ	半期	2			○		
		国語教育学概論Ⅱ	半期	2			○		
		国語教育実践研究Ⅰ	半期	2			○		
		国語教育実践研究Ⅱ	半期	2			○		
		古典教育研究Ⅰ	半期	2			○		
		古典教育研究Ⅱ	半期	2			○		
	書道領域 選択Ⅵ類	日本書道史Ⅰ	半期	2			○		
		日本書道史Ⅱ	半期	2			○		
		中国書道史Ⅰ	半期	2		○			
		中国書道史Ⅱ	半期	2		○			
書道実習ⅠA		半期	1		○				
書道実習ⅠB		半期	1		○				
書道実習ⅡA		半期	1			○			
書道実習ⅡB		半期	1			○			
書道実習ⅢA		半期	1				○		
書道実習ⅢB		半期	1				○		
書道実習ⅣA		半期	1				○		
書道実習ⅣB		半期	1				○		
書論研究		半期	2			○			
古筆学		半期	2			○			
篆書法篆刻学	半期	2			○				
隸書法	半期	2			○				

(次ページに続く)

科目 区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法
				1	2	3	4	
展開科目 表現文化領域 選択VII類	出版文化論Ⅰ	半期	2			○		展開科目（選択Ⅰ～Ⅶ類）と関連科目の中から 18単位以上選択必修
	出版文化論Ⅱ	半期	2			○		
	放送文化論Ⅰ	半期	2			○		
	放送文化論Ⅱ	半期	2			○		
	表現文化論Ⅰ	半期	2		○			
	表現文化論Ⅱ	半期	2		○			
	身体表現文化論Ⅰ	半期	2			○		
	身体表現文化論Ⅱ	半期	2			○		
	文字表現文化論Ⅰ	半期	2				○	
	文字表現文化論Ⅱ	半期	2				○	
	書誌学Ⅰ	半期	2				○	
	書誌学Ⅱ	半期	2				○	
関連科目	史料講読Ⅰ	半期	2			○		修得単位は展開科目へ算入
	史料講読Ⅱ	半期	2			○		
	中国学入門	半期	2	○				
	中国文学通史	半期	2		○			
	中国古典読法基礎	半期	2	○				
	中国文学基礎Ⅰ	半期	2		○			
	中国文学基礎Ⅱ	半期	2		○			
	中国原典研究Ⅰ	半期	2				○	
中国原典研究Ⅱ	半期	2				○		

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。